

事業計画書

事業名	尼崎市内障害者団体・作業所・障害者・家族への支援事業および尼崎障害者センター基金の創設と運営事業			
事業の目的・社会的必要性	<p>この3年ほど障害者自立支援法のもたらす制度変更は、障害者の生活にかかわるいくつもの問題点を生じさせました。そのような中から、市内の障害者関連団体・作業所が集まりゆるやかなネットワークが作られ連携を深め、相互連絡、福祉制度利用相談活動、研修会広報活動が行われてきましたが、いずれも有志の不定期な活動に依存するもので、活動を安定的に担う本格的センターが渴望されるようになりました。</p> <p>さらに、それらの活動を積み重ねる中で地域での信頼を獲得し、「尼崎障害者センター基金」を立ち上げ、市民・企業からの寄付の受け皿とし、幅広い支援事業の補助にあてる資金調達（ファンドレイジング）に取り組もうという機運が起こり、本年2月より市内団体有志15人で、「NPO法人尼崎障害者センター」設立準備委員会を発足させ、8月30日設立総会を開き、9月認証申請の予定です。</p>			
事業の内容	項目/内容		目標の設定	
	<p>(1) 支援センター事業（団体間の連携事務・準備作業）</p> <p>(2) 相談センター事業（相談窓口開所・書類作成支援）</p> <p>(3) 研修広報センター事業（制度変更の情報収集/広報）</p> <p>(4) 地域連携センター事業（商店・企業との連携作業）</p> <p>(5) 作業所設立運営支援事業（作業所の法内移行支援）</p> <p>(6) 地域活動支援センター設立運営支援事業（支援）</p> <p>(7) 尼崎障害者センター基金の管理運営事業（基金への寄付を市民・商店・企業へ広報・募集）</p>		<p>1週に2回</p> <p>1週に2回窓口開所</p> <p>月1回のニュース発行</p> <p>作業所販売品の斡旋</p> <p>5ヶ所への支援</p> <p>3ヶ所への支援</p> <p>「基金へのお願い」を広く配布・30万円目標</p>	
事業のスケジュール	月日	項目	実施場所	実施担当者
	8/30	NPO法人設立総会	身障福祉会館	準備委員 理事
	9/月上旬	NPO法人認証申請	兵庫県庁	
	12/下旬	NPO法人認証（予定）		
	1/中旬	第1回NPO法人総会開催	身障福祉会館	法人会員
	1~9月	事務相談などの支援作業継続	市内各地	雇用スタッフ
	2月	尼崎障害者センター基金募集始動		無報酬スタッフ
4~9月	地域連携・作業所支援活動開始	市内各地	無報酬スタッフ	
事業の対象	尼崎市内の障害者団体・作業所・障害者・家族			
期待される成果・社会的価値	<ul style="list-style-type: none"> これまで団体有志による連携支援は不定期・不安定でしたが、法人化による安定した活動が期待されます。 度重なる制度変更は障害者を惑わせるものでしたが、センター設立によって情報収集や広報・研修会開催などが計画的に実施でき、「民」における相談窓口が機能できます。 活動を積み重ねる中で地域での信頼を獲得し、「尼崎障害者センター基金」を市民・企業からの寄付の受け皿とし、幅広い支援事業の補助にあてる資金調達（ファンドレイジング）が根付く契機となりたい。 			
アピールポイント	障害者市民による支援事業実施と資金調達、いわば「民による第2の障害福祉課」			
事業費総額	¥ 505,000	助成申請額	¥ 300,000	